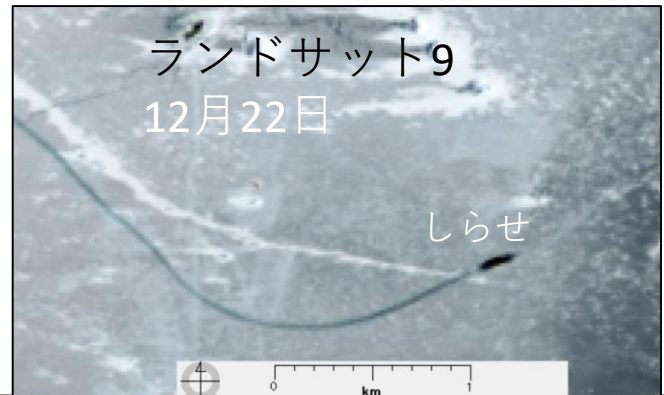


2022年12月26日 YACかわら版 324

しらせ接岸



日本の南極観測に関する情報の蛇口である「極地研＝国立極地研究所」webサイトの観測隊ブログ (<https://nipr-blog.nipr.ac.jp/jare/20221224post-304.html>) は次のように書いています。

しらせ接岸 2022年12月24日



12月24日、第64次南極地域観測行動中の観測船「しらせ」が、昭和基地沖約260mの定着氷に到達し、そこに接岸しました。今後、燃料や食糧など観測隊の一年間の越冬観測を支える物資が昭和基地へ輸送されます。



YACかわらばん313「夏にむかう南極」で、11月26日に南極観測「しらせ」はオーストラリアのフリーマントル港に入港し、28日に出港したと書きました。

<http://www.yac-j.com/hq/info/yackawaraban20221202-2.pdf>

順調に昭和基地に到着しました。昭和基地の位置情報は次の通りです。

-69.006958, 39.583744 *パス148口ウ109

例年の「しらせ」はこの後、補給作業の進展にあわせ、接岸位置を変えたり、艦首方向を帰路に変更したりします。

「しらせ」は定着氷が厚い場合、いったん200-300m後退したうえで、最大馬力で前進、氷に体当たりし氷に乗り上げて砕氷をします。衛星データでも、この航跡がしばらくの間確認できることが多いです。

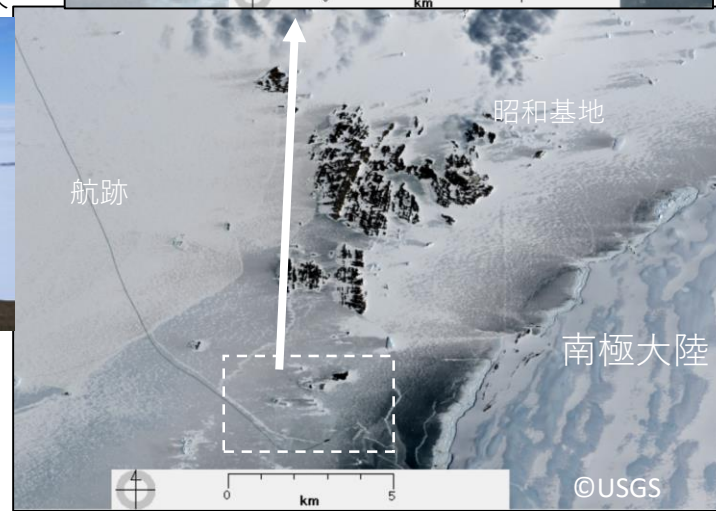
12月25日12:00の時点で、EOブラウザ上では

センチネル1 →12月24日観測データ→接岸した「しらせ」確認可能

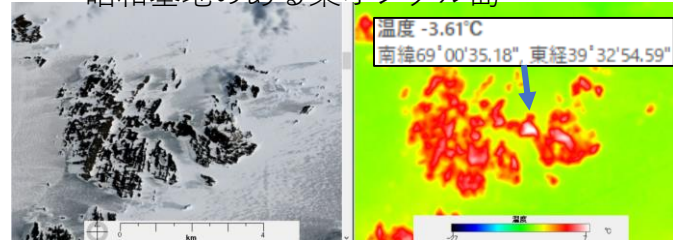
センチネル2 →12月18日観測データまで→「しらせ」未確認

ランドサット8-9→データ未確認

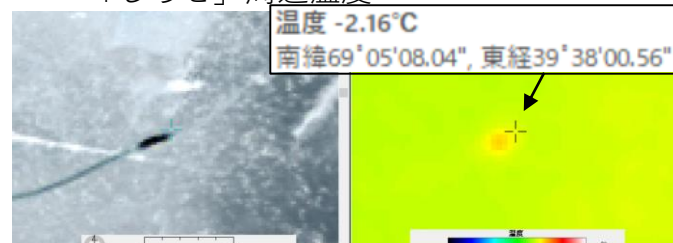
USGSのEarthExplorerでは12月22日のランドサット9データがアップされているのでこれをEISEIで利用しました。



昭和基地のある東オングル島



「しらせ」周辺温度



Sentinel-1 AWS-EW-HHHV
2022-12-24
17:24:19 UTC

Q -69.0069

インド洋

流氷



定着氷域進入！
2022年12月19日



12月19日に、流氷の漂うインド洋から、南極大陸の定着氷水域に入りました。砕氷艦の能力を発揮し、昭和基地沖に12月24日に接岸し、物資の輸送を本格化しています。定着氷に残る航跡が印象的です。極地は、衛星の観測の機会が多いです。EOブラウザで確認してみてください。ワクワクします。



東オングル島 しらせ接岸



Shikwa Station

Ongul Island

3D



+

-

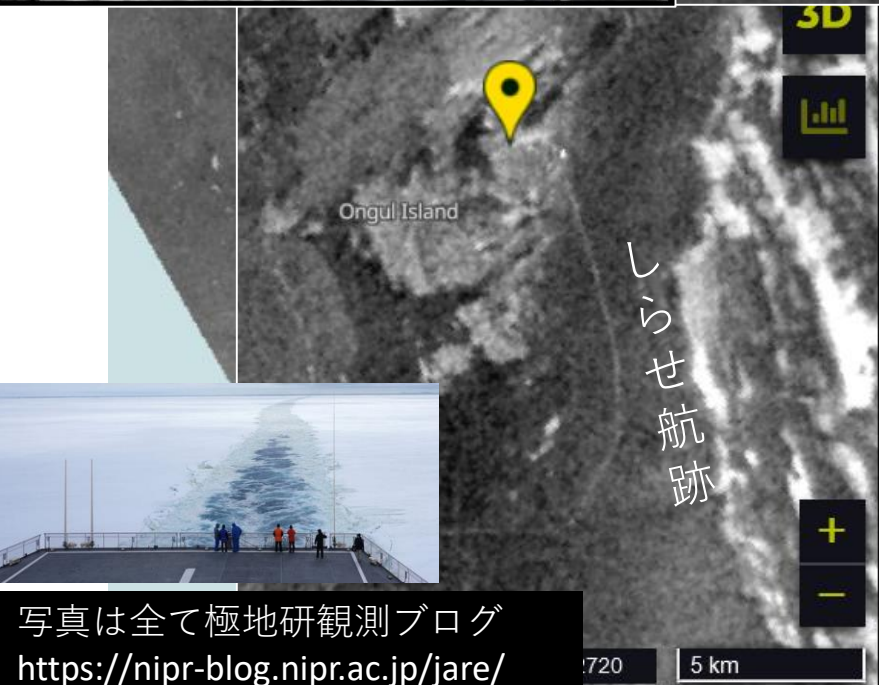
Lat: -68.9944, Lng: 39.5250

1 km

約45km

観測画面接続ライン

昭和基地



Ongul Island

しらせ航跡

3D



+

-

720

5 km

南極大陸



昭和基地のヘリポートで横断幕を持ち64次隊の到着を待つ63次越冬隊。

+

-

20 km

写真は全て極地研観測ブログ
<https://nipr-blog.nipr.ac.jp/jare/>